

こんな姿を
めざしたい!!

データの傾向を的確に捉え、 判断の理由を説明できる



8 (3) 正答例

2つの度数分布多角形が同じような形で、6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある。したがって、日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある。
(解答類型1)

特徴的な誤答

6時間以上の度数分布多角形の方が、最頻値が大きいから。(解答類型6)

ここがつまずき!

「6時間未満の度数分布多角形よりも6時間以上の度数分布多角形の方が右側にある」ことを明示せずに、度数分布多角形について最頻値など、ある点を比較して記述している。

誤答から見える
生徒のつまずき!



学年の学習で...

日々の学習における改善・充実

こんな
問いかけ
してみませんか?

T:「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」といえるでしょうか?



S: 今回のような場合、最頻値という、ある点の比較だけでよいのかな。

T: 全体的な傾向を捉えるために、何をみればよいでしょうか?

S: 形かな。



S: データの大きさが違うけど、相対度数にすれば比べられるね。



S: 2つの度数分布多角形がほぼ同じ形になっているね。



S: ヒストグラムを重ねたけど、隠れてしまう部分があるね。



S: ほぼ同じ形だから、同じような傾向があることがいえるね。

S: 説明にそれを加えようよ。



S: 度数分布多角形にしてみたらどうか。

T: 度数分布多角形の位置はどうなっていますか?



S: 6時間以上の方が右側にあるよ。



S: 「同じような形で、6時間以上の方が右側にあるから」という説明でよさそうだね。



S: いえるよ。6時間以上の方が、最頻値が大きいから。

授業改善の
POINT

2つの分布の傾向を比べて
説明する活動を取り入れよう!



